

日本女子体育大学 高大連携特別講座

令和7年7月11日（金）に1年生の1クラスを対象に、
高大連携の一環として、助友先生(日本女子体育大学)、Navarro Ana 先生(University of California, San Diego)
河村先生（産業医科大学）の3名の先生にお越しいただき、特別講座を開講いたしました。



授業のテーマとしては、**英語×保健**といった横断的な内容であり、

がん教育を中心に日米の研究を通じた国際交流の実際について知り、保健活動の発展のためにはコミュニティの理解や協力が必要であることを学習しました。



授業では、がんについてのクイズや、がん教育についての現状をわかりやすくお話しいただき、生徒たちも終始集中して取り組むことができました。授業後には生徒から講師の先生に向けて積極的に質問する様子もあり、生徒たちにとって学び多い授業となりました。



がん教育については、2人に1人ががんを患う可能性がある時代だといわれています。決して他人事ではなく、**地域の方を大切に**、**周囲の方を大切に**、そして何よりも**自分自身を大切に**する心を育てるきっかけになればと考えています。

特別講座を受けた生徒たちは・・・

① 授業を受けて、がんを始めとした保健活動の発展のために、今のあなたなら何ができると思いますか？

- ☆ 保健活動を一緒にすることは難しいかもしれないけど、少しでもがんのことについて知ろうと思いました。
- ☆ がんの予防などを地域で呼びかけることや、聞いたことを家族に伝えることができる。
- ☆ 私は保健体育の授業が苦手です。なぜなら当たり前に知っているからやる必要がないと思っていたからです。けど、当たり前のことすらわからないことやアメリカには保健の授業がないなどのことを知って、保健の授業をしっかり受けて将来ボランティアをしてみたいです。

② 今日の授業を受けての感想

- ☆ 間違えることも含めて、一緒に活動していくことが大切、という言葉はとても心に残りました。
- ☆ がんについて研究する人やがんに関する活動をする人がいるから助かる人もいるんだろうと思った。
- ☆ 今回の授業を通して自分は、富山県での保健活動やアメリカでの保健活動を知ったので、もっといろんな国の保健活動を調べてみたいと思った。